

## <兜むすめ プロフィール>

### <松前慶広>

北海道出身の少女。広大な大地にはぐくまれ、爽やかな少女に育った。生徒会の豊臣秀吉に時々あいについては、「うちのクラスは大丈夫です」と気を使っている。秀吉が卒業すると、パパッと生徒会長となった徳川家康に、「うちのクラスは大丈夫です」と言いについている。基本的には長いものに巻かれている様子。

### <津軽為信>

「どうせやるならとことんやりましょう」という思い切りのよい性格の少女。幼なじみの戌姫とはとても仲がよい。南部利直とは喧嘩仲間。生徒会長になった豊臣秀吉が「喧嘩はルール違反」と校則を追加したが、思いっきり喧嘩をして目をつけられてしまう。秀吉卒業後は、徳川家康と石田三成の喧嘩に巻き込まれて、どっちもどっちですよ〜という対応をしていたところ、ギリギリ怒られないですんだ。三国志が大好きで、関羽ファン。

### <南部利直>

わんこそばが三度の飯より好き、というより三食わんこそばでも大丈夫な岩手出身のくいしんぼう少女。実家は広大な敷地を持っており、どこまでも続く私有地がある。なんだからで豊臣秀吉とは仲が良い様子で、クラスの問題児・伊達政宗がやんちゃするごとに「なんとかしろ」と言われる。

### <秋田実季>

茶道部や華道部に所属する文系少女。南部さんや津軽さんとはご近所。同じくご近所の伊達政宗から、ヨーロッパ、おもにイタリアやスペインのいいとこ話を聞いて憧れるようになった。ヴァチカン市国とか行きたい！と願っている。

### <伊達政宗>

「奥州の独眼竜」を名乗る少女。反骨精神たっぷり、ちょっと気の合わない親戚の家に突撃したり血気盛んなお年頃。なんとかして自分の力を見せつけたいが、のわりに、分が悪くなるとコロッと手のひらを返す。優等生・直江兼統とはきっと生まれ変わっても仲良くできない。友人に恵まれる星の下に生まれたのか、片倉小十郎、伊達成実、鬼庭左月斎など政宗を信頼する友人は多く、彼女も友人を裏切らない。そんな熱い友情をはぐくんでいる。趣味は料理と案外家庭的な面も。右目の眼帯は中二病とかそういうことではない。眼帯を取ったら暗黒龍が目覚めるとか、そんなことは断じてない。

### <最上義光>

伊達政宗の従姉妹で、家族を愛し、田舎を愛し、とにかく愛に溢れた少女。知恵と真心と勇気に満ちあふれている、正義のヒーローのような人格。涙もろく、感動秘話なんかにはめっぽう弱い。そんな義光がうらやましいのかなんなのか、政宗からちょくちょくちょっかいを出されており困り気味。かわいらしい容姿にそぐわず、とても力持ちで、腕相撲じゃ負け知らず。重いものでもひょいっと持ち上げる。そんなたくましい姿も、政宗にはコンプレックスなのかもしれない。

### <直江兼続>

優等生を絵に描いたような少女。読書家で、教科書に出てくるような題材は、古典から近代文学まですべて読破している。憧れの上杉謙信先輩に「義」と「愛」がなんたるかを教えられ、熱狂的な謙信様ファンとなった。今は、謙信の妹・景勝と仲良しに。曲がったことは大嫌いで、遅刻、制服の乱れ、宿題の見せあいっこなど、とにかく見つけたらビシッと言ってやらないと気が済まない。基本的に遅刻、着崩し、「宿題見せて」がデフォの伊達政宗とは犬猿の仲。一方で、パンク系女子・前田慶次とは着かず離れず仲良くやっている様子。

### <上杉謙信>

良家のお嬢様。幼い頃にお寺の保育園に預けられたこともあり、古風にも「義」を重んじる潔癖少女となった。男女交際などもってのほかである。性格は穏やかだが、平安時代の軍記物や、世界大戦の美談なんかが大好きのミリオタ。また、一度こうと決めたものは意地でも譲らない頑固な面もある。隣中学だった武田信玄とは、騎馬戦同好会のキャプテン同士でライバル。かつて5回の戦いを繰り広げたが決着はまだついていない。無口な妹・上杉景勝と、その友人・直江兼続と仲が良い。趣味は甘酒で晩酌。もちろんノンアル。お酒は20歳になってから。

### <真田幸村>

普段はおとなしくて、のほほんとした性格。しかし、実は熱い心を秘めたスポ根少女で隠れた男前。間違ったことはしたくないし、やっている人は許せない質。一度、情熱に火が着くと猪突猛進していくタイプでもある。上杉さん家の兼続ちゃんとか、豊臣さん家の秀吉ちゃんとは小さい頃一緒に遊んだ仲。でも本人はあまり憶えていない。良い成績をとろうとか、いい大学に進もうとかはあまりない様子で、山奥で口八又生活もいいなと思っている。

#### <武田信玄>

上杉謙信の隣中学に通っていた少女。高校で同じクラスとなり、ときにライバル、ときによき友人として接している。基本的に謙信とは真逆の性格で、あらゆる男子と浮き名を流している。容姿のわりに肉食系である。謙信がそれをどう思っているかは謎だが、「まあ、いんじゃない？」程度だと思われる。一方で気が強い一面もあり、いざとなるとまとめ役として活躍する。仲の良い妹に信繁がいる。末妹・勝頼がちょっとうわっついているので心配だ。遠足に持っていくくらいほうとう鍋が大好き。

#### <佐々成政>

織田信長や前田利家とは子どものころからの知り合い。とくに利家とは一緒に遊んだり喧嘩したりとよきライバル的な存在。登山が趣味で、冬の日本アルプスでもどんどん登る。雪塗れで徳川家康の家を訪ね驚かれた。利家と同じく、幼なじみの柴田勝家と仲がよい。信長からも豊臣秀吉からも頼りにされる頑張り屋。一方で努力が空回りすることもしばしば。

#### <前田利家>

織田信長の幼なじみ。ちっちゃな頃から悪ガキで、15で不良と呼ばれた少女。当時のあだ名は「犬千代ちゃん」。腕っ節が強く、そこらの男じゃ太刀打ちできない。信長のピンチであれば、呼ばれもしないのに援護に登場する。昔はミニスカだのルーズソックスだの、茶髪だのいろいろ遊んだが、最近は少しおとなしくなってきた。従姉妹の慶次が最近遊び気味で心配している。一通りの悪いことはやったせいaka度量も深く、秀吉や家康ら、個性的な友人たちのパイプ役になってしまった。

#### <朝倉義景>

随分といいとこのお嬢様。おうちで財界の人たち集めてパーティーとかしてしまうくらいお嬢様。今川義元同様、幼い頃からお稽古漬けの毎日だったが、そのせいで俗世間についていけなくなっている。最近ご近所さんかつ同級生の織田信長がブイブイいっていて怖い。とはいえ、名門の自負はあるので、「どこの馬の骨ともわからない人間が生徒会長なんて」と口を滑らせて信長一行から睨まれている。怖い助けて浅井長政ちゃん。

#### <長野業正>

上杉謙信がトップを張る、騎馬戦同好会のメンバー。謙信のライバル・武田信玄を相手に6回も勝利している強者。格闘技、武術全般が得意で、武闘派な少女だ。非常に男前な性格で、自分に厳しく、周囲にも厳しい。妹に業盛がおり、一緒に騎馬戦同好会に参加している。姉には到底かなわない。

#### <本多正純>

徳川家康とは友達。姉に正信がおり、ふたりで家康と仲良しこよし。(のはず…) 家康が生徒会長になると全力でバックアップした。頭がいいので、家康も頼りにしているが、賢すぎてやっぱり主君に引かれるのは、豊臣秀吉の友人・黒田孝高あたりに通じるものがある。頭がよすぎるために周囲から不穩に思われる、やっぱり損な役回りである。

#### <佐竹義重>

剣道部主将として活躍する少女。団体戦で7人をひとりで倒し完封勝ちした。ついたあだ名が「鬼義重」。武田信玄とはご先祖様が一緒だったらしいが、自分こそが本当の子孫だと主張する。信玄的にはどうでもいい。最近、刀匠に憧れているご様子。妹に義宣がいるが、姉の趣味がどうにもわからない。伊達政宗のご近所さんでご親戚。なんで政宗は親戚ばかりにいちゃもんつけにくるのか謎と思いつつも追い返している。

#### <大道寺政繁>

北条氏康とは昔から仲がよく、家族ぐるみの付き合いをしている。氏康いるところにかならず政繁もいる。織田信長とは彼女が転校するまで仲良くはなれなかった。氏康はその気はないようだが、生徒会長になるなら氏康だと思っているので、次期生徒会長・豊臣秀吉とも仲良くなれない。真田幸村とも知り合いのようで、たまに会話をしている様子が見られる。自宅に蛇を飼っており、は虫類、両生類系大好き。

#### <本多忠勝>

徳川家康の幼なじみで大の親友。まるで中世騎士のように家康を守る少女。家康を困らせるやつ、家康にたかるやつ、家康をナンパするやつ、片っ端から放り投げてきたが、どんな屈強なやつ相手にも怪我ひとつしたことがないという。少女とは思えない驚異的な強さをほこる。信長の家康への対応に「ムムム……」と眉をひそめることもあるが、家康が耐えるなら忠勝も耐えるのみ。豊臣秀吉は忠勝の心意気に感動したらしく、しきりに親友勧誘してくるが、忠勝的にはちょっと怖い……。

#### <徳川家康>

織田信長とはご近所さんで幼なじみ。年上の信長から下僕として目を付けられた不運な少女。なかば強制的に友人関係を結ばされ、はや十数年。いつ信長の逆鱗に触れるかとヒヤヒヤしている毎日。とにかく耐えて耐えて耐え抜くが心情。お調子者の豊臣秀吉が信長のまわりでヨイショしているが、なんとなく馬が合わない。小さな頃から遊んでいた本多忠勝とは今も仲良し。

#### <北条氏康>

元政治家である祖父・北条早雲に厳しく育てられたかわいい孫娘・氏康。上杉謙信、今川義元、武田信玄とは昔から仲が良く、たまに喧嘩もするけれどいい友人関係。祖父のことを誇りに思っており、自分もおじいちゃんみたいになれたらいいなと思っている。最近はクラス委員として頑張っている。教科書で習った目安箱設置など、良い政治家になれるかもしれない。きれい好きできちつきちとした性格。

#### <今川義元>

織田信長の近所に住んでいるお嬢様。良家の娘らしく、御茶に書道に華道に和歌など、雅なお稽古事は幼いころから行っている。お金持ちで、「さぞ良い物食べてるんでしょうね」というようなふとましい体型。よく遊ぶ反面、よく学ぶ。今時珍しく「お家」を大切にしている。妹・氏真は基本的に家も家業も興味がないので、姉としては日々心配しているが、変化は見られない。最近、ご近所さんの信長と静かな火花を散らしているが、「これだから貧しい家の子は」くらいにしか思っていない。教育係・太原雪斎とは仲が良い。

#### <竹中重治>

牛のようにのんびりしているように見えて、頭脳は明晰。「今です！」とか「だまらっしゃい！」とかは言わないが、まさに現代の諸葛亮孔明。ダメダメクラス委員・斎藤龍興をあっさり委員長長の座からひきずり降ろすと、さっさと織田信長や豊臣秀吉の生徒会制覇に力を貸している。秀吉がどーしても友達になつてと勧誘するので、3度目でOKした。同じく策士・黒田官兵衛とは仲良し。妹・長政の面倒もちよくちよく見ている。病弱なのが玉に瑕で、学校は休みがちである。

#### <織田信長>

彗星のごとく現れた霸王こと生徒会長・織田信長。強烈なキャラクターと実行力、運を味方につけて生徒会どころか教育委員会、PTAまで牛耳った伝説の女子高生。高校を信長を中心とするひとつの軍事国家のようにしてしまった。思い立ったら即行動。しかし、どこか達観したような人物でもあり、孤高の少女である。恨みつらみもすべて受け止め、彼女がめざすは日本征服か世界征服か……。

#### <九鬼嘉隆>

織田信長と同じクラスに所属する手先の器用な女の子。趣味はプラモデル全般。アニメのフィギュアからモデルガンなど、いろいろなものを組み立てる。最近オリジナルのプラモ戦艦・鉄甲船を制作した。めずらしいもの好きの信長がこれを見て、なんだか意気投合した。同じくプラモ好き村上武吉とはオリジナルプラモ戦艦で何度か競い合っている。一方で柔道部の主将でもあり、腕っ節も強いが、度々織田家にお茶に呼ばれるくらいは教養がある様子。海に行くのが好きで船に乗ると嬉しくなってしまう。信長、秀吉の卒業後、家康とは仲が悪くなってしまった。

#### <石田三成>

賢く、超がつくほどの生真面目。そして愛想がない。その性格のためか周囲に打ち解けられず、孤立していたところを豊臣秀吉に声をかけられた。明るくて頭の良い秀吉に憧れ、彼女が生徒会長になれるようにいろいろと気を配っている。「妥協」「譲歩」「折衷」という言葉は三成の辞書にはないため、周りとの折り合いが悪くなることしばしば。もっとおべっか使ってもいいのよ?と、秀吉は内心思っている。喧嘩は大の苦手で、とりあえず嫌いなやつには渋柿を食わせるくらいしかできない。島佐近と最近仲良くなったそう。とても不器用な子である。

#### <豊臣秀長>

秀吉の妹で、頼れる秀才。姉妹二人三脚がんばって来た。つつい目的のためにやり過ぎる姉や、個性的な生徒会面々に常にツッコミを入れてまとめる役所。同じようなポジショニングの前田利家には感謝していると、同時に、利家とあわせて豊臣陣営のサイドバックでもある。趣味は貯金。姉が派手に豪遊しても、ひたすら貯金。幼き頃の貧乏生活は忘れられないのだった。

#### <明智光秀>

織田信長の腹心として支えてきた少女。しかし、とうの信長が明智を腹心と思っているかは大いに謎である。信長のカリスマ性に惹かれ、日夜彼女のために働き続けているが、前田利家や徳川家康あたりにはド M なんじゃないかと思われている。信長のためと身を粉にして動いてきたが、信長様は振り向きもしてくれないので、ある日突然ブツツンする日が来るかもしれない。もしかするとヤンデレではという憶測も。

#### <豊臣秀吉>

お調子者の、信長の太鼓持ち。基本的に派手好きで、幼い頃、家が貧しかったせいか、ブランド物大好きである。どこまで計算しているのか、おバカのように見えてしっかり取り入る器用な人物。いつか、信長のような立派な生徒会長になることを夢見ている、というか虎視眈々と狙っている。誰とでも仲良くなれることが特技で、誰かれ構わず気軽に声をかける。引っ込み思案な石田三成のはじめての友達となり、三成からは随分好かれている様子。

#### <黒田孝高>

豊臣秀吉の生徒会長への道を手助けしている秀才少女。頭が良すぎて秀吉が引くくらいである。常に沈着冷静。人情よりも理論と常識。一方で友人や家族を大事にしたいのだが、あんまりに頭がいいので、何か裏があるんじゃないかと思われる、若干損な役回り。怒ると水鉄砲で水攻めしてくる。実直真面目な妹・長政がいるが、真面目な分、官兵衛の意図がくめずにいつも怒られている。

#### <浅野長政>

豊臣秀吉とは友達。生徒会の会計係を任されている。お勘定は1円単位で正確に数える。公費まで浪費しがちな秀吉に釘をさすのがお役目。最近、秀吉になついている石田三成とは犬猿の仲。秀吉のことにはなんでも賛成してしまう三成に対して、長政は例え友人でも物申すタイプである。三成的によかれと思って会計にちゃちゃを入れてくるのだが、長政的にはちょいとしゃくに障る様子。秀吉が卒業してしまうと、徳川家康と仲良くなってしまう。

#### <山中幸盛>

尼子家のご近所さん。尼子経久やその妹・晴久、義久にとてなついている無邪気だが芯の強い女の子。友達のためならどんな苦難だって乗り越えられると自負するほど、友人思い仲間思いである。友達をいじめる毛利元就とか大内義隆とかは大嫌い。織田信長に直訴するも、信長的にはそんなに興味がない様子。太陽よりも月が好き。スーパームーンとか、ブルームーンとか、天体観測が趣味だったりする。

#### <尼子経久>

盆栽クラブ部長を務める少女。何かあればお礼に盆栽、プレゼントは手塩に育てた盆栽。と思えば絵もうまく、スポーツもできる万能体質。正直で無理なことは望まず、自然とともに生き、天命に身を任せている、まるで悟ったおじいちゃんのような生活をしている。年下の大内義隆や毛利元就が、最近ぶつかったりなんなりを見ていて、「若いなあ」と思っている。妹の晴久がふたりのバトルのなかに生き生きと入りたそうにしているのので、「無理しない方がいいんでない?」と思っている。

#### <宇喜多秀家>

学校でも随一の美少女で、頭もよろしいかわいい女の子。ちいさいころから豊臣秀吉の友達だった。秀吉も秀家をかわいがり、生徒会に入るように進め、のちは博士か大臣かと大事にしている。水泳が得意で水泳部でエースを務めるほど。八丈島に別荘があり、たまにそっちで休みを過ごしていたりする。さすがに八丈島から泳いで参ったりはしない。徳川家康がちょっと苦手。

#### <毛利元就>

尼子さん家や大内さんの家のご近所で育ったが、幼いころに父の会社が倒産するなど、結構ハードな人生を送ってきている。現在は将棋部主将。クラス委員になるだの、県大会で一位になるだの、そんなことはどうでもいいのだが、度々対抗馬として名前があがってしまう。そしてその度に勝利を手にしてしまうから我ながら怖い(笑)。年の離れた妹が三人いるが、我が家のためにも力を合わせて頑張れと日々教えている。思いついたら何でもメールで送るメール魔。長々と説教メールが妹たちに届くことしばしばである。

#### <大内義隆>

実家は貿易で発展した大企業。幼いころから日本文化に精通している。毛利元就や尼子経久とはご近所さんでクラスメイト。最近では若気の至りでお耽美にご興味がおありのご様子。せっせか机の上で“かけ算”に勤しんでいる。商売の才能は親譲りだが、誰かと競争するというのは基本的に苦手。なりゆきで元就と対決することが多いが、必死に頑張るも、いつも元就にやられてしまう。



#### <十河一存>

腕っ節の強い、わんぱくな田舎娘。空手とか剣道とか柔道とか、「道」とつく武道系はだいたい習ってきた。同じクラスの三好長慶とは姉妹で仲がよい。さぬきうどんが大好きで、お弁当に持ってくるほどである。ちょっとやそつのかすり傷では驚きもしないたくましい少女。その勇猛果敢な姿から「夜叉十河」なんてあだ名で呼ばれることも。

#### <村上武吉>

毛利さんちの近所に住んでいる。実家は漁業関係者。船には小さなころから乗っていて大好き。最近ラジコンボートにはまり、九鬼嘉隆とよく競い合っている。毛利元就の妹・小早川隆景と仲が良く、一緒によく遊んでいたりと、大内義隆や尼子経久にちょっかいを出している。生徒会面々とは何かと仲が悪い。織田信長の転校後、豊臣秀吉が生徒会長になると、ラジコンボート禁止令が出され涙目になった。

#### <蜂須賀至鎮>

ちょっと体の弱い、病弱体質の少女。その分人の心を理解できるのか、友達からはとても好かれている。一方で太っ腹なところもあり、お小遣いをぽんと与えたり、部活やクラス活動ではリーダーになることが多いが、おごらずに自分から率先して動く、とても良い子である。徳川家康とは仲が良く、何かと家康の見方をしている。

#### <長宗我部元親>

四国出身ヤンキーガール。幼いころは色白でかわいくてふわっとしていたので、お姫様同然に育てられたのだが、ある日地元ヤンキーの抗争に巻き込まれたところ、一気に才能が開花。地元じゃ知らないものはいない、「鬼若子の元親」と恐れられている。とはいえ、喧嘩好きというわけでもなく、仲間たちはとても大切にしている。高校で霸王・織田信長に出会い、いつ喧嘩ふっかけられるのかと心配していたが、信長はあんまり興味がない様子。秀吉とは喧嘩の末に友人となり、なんとなく仲がいい。

#### <立花宗茂>

大友宗麟とは幼なじみの少女で、なんだか厳めしい年の離れた姉・道雪がいる。日々、道雪の厳しいスパルタ教育を受けているが、その甲斐あってか立派な人格の持ち主に育った。義理人情にも厚く、自分の不利がわかっているけど、味方をせずにはいられない。そんな宗茂を慕って多くの友人が周囲には集まっている。が、本人は「ありがたいことだなぁ」と奢ったりもしない。笛を吹くのが趣味。

#### <大友宗麟>

中二病を引きずりまくっているのか、キリスト教やら聖書やらに興味がある少女。高校進学あたりから、あまりに傾倒しすぎて引きこもっていたところ、幼なじみの立花宗茂の姉・道雪に一括されてやや正気に戻った。一念発起してクラス委員になるが、毎朝のミサは正直なんとかして欲しいとみんなが思っている。龍造寺隆信からは変な子と思われるしており、宗麟的には隆信の自己中心的生活が嫌だったり、お嬢様同士でいがみ合いが続いている。

#### <龍造寺隆信>

もとは正義感のある少女だったが、家庭内がごちゃごちゃしたこともあったりなかつたりで、とても自己中心的に育ってしまった。家は ATM、友達は専属家政婦、学校も自分のためにあるものと信じて疑わない。横暴極まりないのだが、なまじ家が金持ちだったり誰も逆らえなかった。家でも好き勝手に振る舞っているが、唯一、母親だけには頭が上がらないようだ。クラスで彼女に反論できるのは、同じくセレブ少女・大友宗麟と、熱い心を秘めた島津義弘くらいである。特に義弘とは馬が合わないが、彼女の姉妹仲や家族仲がよいことがうらやましいのかもしれない。ちょっと寂しい女の子である。

#### <鍋島直茂>

龍造寺隆信のむかしからの友人。正義感あふれる隆信ちゃんは今はどこへやら。「仕方ないにゃ〜」と気遣いつつ、支えつつ、たまに隆信をしかりつつ、学校生活を送っている。機転も利くし、あっけらかんとしていて、クラスでは人気者。豊臣秀吉は「こいつなら生徒会長になれるかも」と言っていたらしいが、本人にその気がなければ仕方ない。語尾が「にゃ」。安易なキャラ付けとか、そういうことは言ってはいけない。

#### <伊東義祐>

何事にも夢中になりがちなまっすぐ少女。近所の島津四姉妹とは仲が悪い様子。毎度毎度、喧嘩をしてはコテンパンにやられて帰ってくる。最近と同じく島津四姉妹と度々衝突する大友宗麟と仲良くなった。もともと仏教にとっても興味があり、仏像ガールだったが、宗麟の影響でキリスト教が最近のマイブーム。クラス委員・宗麟のもとで、“布教”に力を入れている。信じるものは救われるらしい。

<加藤清正>

豊臣秀吉と幼なじみの少女。あまりおつむはよろしくないが、秀吉ちゃんのためにいつもがんばって来た。秀吉のためならきつと寅でも倒せる。でも最近、秀吉は石田三成ばかりを構っていてちょっとふてくされ気味。前田利家が「まあまあ」となだめておとなしくしている。趣味は雑誌の毎号届くパーツを組み立て城作り。とくに熊本城は渾身のできればである。自分で考えることは苦手で、自己啓発本を手にしてみるも、あんまり役に立たない。

<島津義弘>

仲良し島津四姉妹の次女。しっかりもので、賢く、猫大好きな女の子。でも、喧嘩とか見ちゃうとオラ、ワクワクすっぞ。自分の趣味布教のためにクラス委員となった大友宗麟、天上天下唯我独尊・龍造寺隆信とは常に戦いの日々である。熱き心と真っ直ぐな思いは、生徒会の豊臣秀吉、徳川家康からも一目置かれつつも、ちょっと怖い存在。かわいけれどあだ名は「鬼義弘」。しかし、普段は友達を大事にする良い子である。

<尚寧王>

沖縄からやってきた気さくな褐色肌の健康少女。「なんくるないさ～」と周囲をなごませてくれるとても良い子である。島津義弘からは田舎もんと思われる。尚寧王的にも何となく島津四姉妹とは付き合いづらい。健康オタクで薬膳料理でもある沖縄料理をふるまってくれる。